

# 会報 骨髓バンク



会報発行：骨髓バンクを支援するいばらきの会 <http://ibaraki.marrowjp.net/>  
発行責任者：牛島英二 編集：境野紀子 伊井義人  
<事務局> 〒300-2622 茨城県つくば市要315-93 伊井方  
TEL：090-3087-9960 / FAX：029-864-3230  
E-mail：bmt-ibaraki-owner@egroups.co.jp

## 【平成26年度上半期を終えて】

会長 牛島英二

会員の皆さん、いつも当会活動に積極的にご参加いただき、誠にありがとうございます。  
9月6日ベシア古河総和店登録会を以って、今年度前半全15回の登録会が終了いたしました。登録者合計は134名で、昨年度前半実績の18回138名とほぼ同レベルの結果となりました。

今年度より献血受付方式が大幅に変更され、従来の問診表への手書き記入からタブレット端末へ直接入力する方式となったことにより、献血希望者への声掛けやチラシ配布のタイミングが取りづらくなったことも伸び悩みの一因かもしれません。

また、血液センター受付職員の方々も新システム対応に忙殺されて、従来のような声掛けの余裕が無いようにも見受けられました。今後はセンター職員の方々とも協調しつつ、声掛けやチラシ配布により一層努めていく所存です。

今年度下半期には合計16回の登録会が予定されていますので、一人でも多くの登録者を目指して、会員の皆様のご協力・ご参加をよろしくお願いいたします。



### 総会が開催されました

去る6月7日、平成26年度の総会が開催され、すべての議案が承認されました。

1. 平成25年度活動報告...承認
2. 平成25年度会計・会計監査報告...承認
3. 平成26年度活動方針(案)...承認
4. 平成26年度予算(案)...承認
5. その他 総会出席者：7名

**ドナー登録者100万人をめざして！**

## 平成26年度茨城県骨髓バンクドナー登録会計画&実績

登録会での出会いがドナー提供につながります。下半期の貴重なチャンスを活かして、ドナー仲間を増やしましょう！

	月	日	曜日	会場名	市町村名	登録者数	献血者数	登録率%
1	4	18	金	(株)加藤製作所茨城工場	五霞町	5	73	6.8
2		23	金	筑波大学(中央図書館前)	つくば市	20	57	35.1
3	6	5	木	イチカワ岩間工場	笠間市	10	30	33.3
4		6	金	京三電機(株)本社・第一工場	古河市	1	37	2.7
5		8	日	LALAガーデンつくば	つくば市	17	41	41.5
6		10	火	茨城県立医療大学	阿見町	20	32	62.5
7		19	木	筑波大学(大学会館前)	つくば市	7	25	28.0
8	7	2	水	日立ハイテクノロジーズ那珂サイト	ひたちなか市	25	135	18.5
9		7	月	日本メクトロン(株)鹿島工場	神栖市	4	33	12.1
10		22	火	鹿島ショッピングセンター	鹿嶋市	2	50	4.0
11	8	11	月	鹿行県民センター	鉾田市	7	20	35.0
12		12	火	イオンモール下妻	下妻市	1	30	3.3
13		18	月	イオンモール土浦	土浦市	5	39	12.8
14	9	3	水	常陸太田市役所	常陸太田市	7	65	10.8
15		6	土	ベイシア古河総和店	古河市	3	41	7.3
16	10	8	水	医療法人社団青洲会神立病院	土浦市			
17		14	火	東海研究開発センター	東海村			
18		18	土	かみすフェスタ(予定)	神栖市			
19		28	火	筑西市役所	筑西市			
20		31	金	ホームジョイ本田潮来店	潮来市			
21	11	6	木	セイミヤモール麻生店	行方市			
22		9	日	建設フェスタ(予定)	ひたちなか市			
23		13	木	学校法人筑波研究学園専門学校	土浦市			
24		14	金	かわねやフェスタ店	常陸太田市			
25		20	木	(株)前川製作所守谷工場	守谷市			
26	12	10	水	つくばみらい市伊奈公民館	つくばみらい市			
27	1	22	木	(株)東京鉄骨橋梁本社・取手工場	取手市			
28		23	金	(株)スミハツ	桜川市			
29		29	木	城里町常北保健センター	城里町			
30	2	25	水	イオンタウン守谷	守谷市			

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

# 「タオル帽子会あいづ」へのタオル贈呈式



6月14日、会津若松市の「タオル帽子会あいづ」の五十嵐代表に、約300枚のタオルを贈呈いたしました。このタオルはイオン幸世の黄色いレシートキャンペーンでいただいたタオルです。

贈呈式の会場は、NHK大河ドラマ八重の桜の舞台となった「鶴ヶ城」近くの鶴城コミュニティセンターというところで、贈呈式には、帽子会の方々も多数参加されました。また、地域の新聞社からも取材に来られ、贈呈式の写真撮りと五十嵐代表へのインタビューが行われました。

タオルは可愛い帽子に加工され、ガンや白血病などで治療されている患者さんの元へプレゼントされます。もちろん水戸の県立こども病院へも送られており、毎年のクリスマス訪問のときに可愛い帽子をかぶった患児たちに出会うと、思わずほほえんでしまいます。

贈呈式の後、帽子会の皆さんに骨髄バンクの説明会を行いました。帽子会の皆さんはご高齢の方がほとんどでしたが、骨髄バンクの仕組みや提供方法、間違った理解(脊髄と混同など)が根強く残っている点、ドナーがまだまだ不足していること等について、体験を交え説明し、良く理解いただけたと思います。

年齢的に登録できない方々ではありましたが、「もし、身内の方やお知り合いの方で、骨髄バンクに登録したいという方がいたら、

「怖いから止める」ではなく「えらいね」と言って背中を押して頂けたら嬉しいです。」と、締めくくりました。

その後、お茶会の休憩をはさみ、バルーンの練習に移りました。最初は慣れない手つきで四苦八苦されていましたが、コツが分かると次々に新作？を作っていました。

帽子会の皆さんと楽しい時間を共有でき、今後も機会があれば交流を深めていきたいと感じた一日でした。

(事務局 伊井義人)



## ～ ラジオ番組のお知らせ ～

【番組名】 - 心がつながる情報バラエティ - キズナの温度

【放送日】10月11日(土) 深夜23時～23時55分

【放送局】全国のコミュニティFM(茨城県内の放送局: FMぱるるん 76.2MHz(水戸市)、FMかしま市民放送 76.7MHz(鹿島市)、ラヂオつくば 84.2MHz(つくば市)、ひたちエフエム 82.2MHz(日立市)、たかはぎFM 76.8MHz(高萩市)、FMだいが 77.5MHz(大子町)

【パーソナリティ】山本雅也(シンガーソングライター/日本骨髄バンク普及大使)

【出演者】伊井義人

【内容】ボランティアさんからのリクエスト! コーナーで約10分間の電話インタビュー(9/25収録済)で、「ボランティアのきっかけ」「活動内容」「ボランティアを通して伝えたいこと」「心に残る曲のリクエスト」「曲に関するエピソード」等々

この番組は、日本骨髄バンクの全面協力の下、全国の関連ボランティア団体とも連動することにより、優しさの温度を感じられる体験エピソードや感動的な実話をたくさん紹介する番組ということです。10月4日から来年3月28日までの毎週土曜日に放送され、全国各地の骨髄バンクボランティアの方々を紹介します。お見逃しなく!

## ドナー登録者100万人をめざして!

# H 2 6 . 1 月 ~ 9 月 茨城県内活動報告

## 1月10日 つくば市役所献血併行登録会

ドナー登録者数	16名	説明のみ	2名
献血者数	94名(申込103名)	既登録者	多数(10名以上)
参加者	つくば保健所 永作様	提供者	1名
説明員	葭原、長尾、伊井(陽)、伊井(義)		
地区普及広報委員	伊井義人		

つくば市役所新庁舎での登録会は、約2年半ぶり2回目の登録会となりました。

前は真夏で暑くて献血断念者もいたという記録がありましたが、今回は真冬で寒風が吹く中での開催となりました。

献血受付は南口のロビーで暖房も効いていて快適な空間でしたが、骨髓バンク受付説明は、今回は庁舎の外(軒下)となりました。

晴天ではありませんでしたが、風は強く、気温も上がらない厳しい状況でしたが、血液センターさんがテントに横膜を張ってくださり、ストーブまでお借り出来ました。お陰様でテント内は寒さはあまり感じない環境でした。感謝感謝です。

献血とともにバンク登録をして下さる方もコンスタントにおいで下さり、午前中は6名、午後10名という結果でした。中には、献血後にバンク登録に訪れる方もいて、改めて、2度刺しを防止する事前説明の大切さを感じました。

献血の大部分が市役所の方々でしたが、聞けば約700人ほどが勤務されているとのこと。まだまだ、ここでの登録会も期待が出来るのではないかと思います。

参加された皆さま、寒い中大変お疲れさまでした。

(伊井義人)

## 3月24日 守谷市役所献血併行登録会

ドナー登録者数	6名(受付7名)	説明のみ	1名
献血者数	77名(申込93名)		
参加者	竜ヶ崎保健所 中島様		
説明員	葭原、長尾、境野(説明員研修受講)、牛島		
地区普及広報委員	牛島英二		



この会場での登録会は5回目の開催で、過去の献血者数は平均で130名を超える大型献血会場です。今回も会場の外に2台の献血バスを配置し、すぐ近くの大会議

室にて広くゆったりとした配置での受付となりました。前回同様、地元ライオンズクラブの方々も受付開始前から大勢お見えになり、会場の座席配置や、記念品準備などを実施されました。

献血受付開始と共に、ライオンズクラブメンバーの企業社員の方が相次いで来場されましたが、市役所には連休明けで多くの市民が各窓口に来庁されたこともあり、市役所職員の方の献血は少なかつたようでした。

献血受付は昼休み休憩無しの連続受付でしたが、昼休みの時間帯はほとんど献血に来られる方が無く、一日を通して全般的に献血数は伸びが見られず、77名の結果となりました。

ドナー登録会は、開始1時間で2名の登録がありましたが、午前3名・午後3名で合計6名の登録となり、今年度最後の登録会でしたが、残念ながら2桁を超えることはできませんでした。なお、いばらきの会の境野さんに対する説明員研修会を並行して実施し、問題なく終了しました。参加された皆さん、どうもお疲れ様でした。

(牛島英二)

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

# H25.1月～H26.9月 茨城県内活動報告

## 4月18日 加藤製作所献血併行登録会

ドナー登録者数 5名(受付6名)  
献血者数 73名(申込79名)  
参加者 古河保健所 児玉様  
説明員 葭原、牛島  
地区普及広報委員 牛島英二



この会場での登録会は初めての開催で、会場の外に2台の献血バスを配置し、すぐ近くの食堂脇の大会議室にて広くゆったりとした配置での受付となりました。

当日の天候は、久しぶりの雨模様で気温も低く、肌寒い一日でした。

受付開始とともに多くの社員の方が献血に訪れましたが、登録会は初めてということもあり、登録呼びかけへの反応も鈍く、午前中は登録者はありませんでした。

初回開催でもあり、今回は次回開催に向けた「種まき」で終わってしまうかもと登録者なしの可能性も懸念されましたが、午後の受付開始後登録希望の方が相次いで受付へお越しになり、参加者一同大いに安堵いたしました。

なお、今年度より献血受付方式が変更され、献血カードをお持ちの方は、カードを提出後待合席で一旦お待ちいただき、その後受付席で問診表記入という手順になりました。そのため、従来問診表記入中の方にお声掛けをしていましたが、待合席での声掛けに変更されましたので、より声掛けがしやすくなりました。

ドナー登録会は、午前0名・午後5名で合計5名の登録となり、今年度最初の登録会としてまずまずの結果となりました。

参加された皆さん、どうもお疲れ様でした。

(牛島英二)

## 5月23日 筑波大学献血併行登録会

ドナー登録者数 20名(受付21名 うち1名は献血待ち時間が長く、取りやめ)  
献血者数 57名(申込72名)  
参加者 つくば保健所 野口様  
説明員 葭原、長尾、伊井(陽)、伊井(義)  
地区普及広報委員 伊井義人



筑波大では、毎年登録会を実施しておりますが、今回はこれまでと別の場所での登録会となりました。献血とドナー登録会の場所は、学生が自転車に乗って、かなりのスピードで往来する構内通路の脇に設営されました。

午前中は、比較的コンスタントに献血に来て下さり、バンクの方も10名と順調に登録いただきました。午前中の最後に、授業終了後の学生さんが大勢献血に訪れ、予定した昼休み休憩が終わろうとする頃に、やっと午前中の受付の方々が終了という状態で、結果、昼休みが30分後ろにずれました。問診医、看護師、スタッフの皆さまは大変だったと思います。

午後は14時から受付開始となりましたが、開始早々から沢山の学生、職員の皆さんが訪れ、途切れなく献血者が増えていきました。

終了1時間を切った15時過ぎ頃には、午前と同じように授業を終えた学生さんがどっと押し寄せ、長蛇の列ができました。一時は20人以上が待っていたと思います。献血受付で順番待ちをしている間に、ドナー登録に回って頂き、結果として午後も10名の方に登録いただきました。

全体的に見て、やはり、筑波大の学生さんの意識は高いなと感じております。登録率35%という数値から見ても、意識の高さが伺える結果かなと思います。

最後の献血の方が終わったのは18時20分と、予定より2時間以上もかかりましたが、何よりも、その長い時間を辛抱強く待ってくださった学生の皆さんに感謝です。

長い1日となりましたが、参加された皆さん、大変お疲れ様でした。

(伊井義人)

**ドナー登録者100万人をめざして！**

## H 2 6 . 1 月 ~ 9 月 茨城県内活動報告

### 6月5日 イチカワ岩間工場献血併行登録会

ドナー登録者数 10名(受付11名)  
献 血 者 数 30名(申込40名)  
参 加 者 水戸保健所 杉山様  
説 明 員 葭原、長尾、山崎(晃)、伊井(陽)、伊井(義)  
地区普及広報委員 伊井義人

ついに関東地方も「梅雨入りしたとみられる」日となりましたが、会場設営時は曇り空でこのまま持って欲しいという願いは届かず、しばらくして雨が降り始めました。

テントの横膜を葭原さんが丁寧に張って下さり、雨をしのげる快適な空間ができましたが、工場近くに東大の牧場があるらしく、ハエが多くて大変でした。

午前中、献血に訪れる従業員の方は、ほとんどが女性の方でした。幸先良く、最初に声をお掛けしたグループの中で、2名の方が登録くださいましたが、その後は献血も数人ずつポツポツという状態で、バンクの方も午前中4名という結果でした。

午後からは、男性の方も多く訪れるようになりましたが、献血待ちの列ができるほどの混雑はなく、スムーズに流れていたという感じでした。

献血受付が終了に近づいた頃、工場の看護師さんと献血担当の方が登録のみ行ってくださいました。お二方は近くを通る従業員の方に声をかけたり、私たちの食事にまで気を配ってくださったりで、本当に感謝感謝です。

小雨が降ったり止んだりの一日でしたが、結果として午後6名の合計10名の皆さまに登録いただきました。

ハエとの格闘は予想外でしたが、肌寒い小雨の中、ご参加いただきました皆さま、お疲れさまでした。

(伊井義人)

### 6月6日 京三電機(株)本社・第一工場献血併行登録会

ドナー登録者数 1名(受付 1名) 既登録者 14名  
献 血 者 数 37名(申込45名)  
参 加 者 古河保健所 宮澤様  
説 明 員 葭原、牛島  
地区普及広報委員 牛島英二

この会場での登録会は3年ぶり5回目の開催です。今回も会場の外に献血バスを配置し、すぐ近くの建物1Fロビーにて広くゆったりとした配置での受付となりました。

当日は朝から終日の雨で、昼ごろには一時強くなりました。

献血受付開始と共に社員の方が相次いで来場され、一時は受付・採血待ちの行列が長く延びましたが、その後は会場が混雑することもなく、一日を通して全般に献血数は伸びが見られず、37名の結果となりました。

会場のすぐ隣に会社PRコーナーがあり、見学させていただきましたが、その中に社会貢献として「献血・ドナー登録会」の掲示板がありました。そこには全社員中ドナー登録済みの方は約250名とあり、社員の方々の骨髄バンクへの熱い思いが伝わってきました。

そのためもあってか、登録済みの方が午前中で10名、午後で4名おられました。午前中などはお声がけした方の大半が登録済みのように感じられました。

そのような状況の中、ドナー登録会は午前0名で午後も反応が無い時間が続き、登録者無しを覚悟しましたが、終了一時間前に1名の登録がありました。

参加された皆さん、どうもお疲れ様でした。

(牛島英二)

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

## H 2 6 . 1 月 ~ 9 月 茨城県内活動報告

### 6月8日 LALAガーデンつくば献血併行登録会

ドナー登録者数 17名(受付17名)  
献 血 者 数 41名(申込55名)  
参 加 者 つくば保健所 野口様  
説 明 員 葭原、長尾、伊井(陽)、伊井(義)  
地区普及広報委員 伊井義人

梅雨入りから降り続く雨は、まったく止む様子はありません。そんな中、献血はLALAガーデン駐車場の一角を使い行われました。

バンクのテントは、献血受付のテントと献血バスの間に挟まれる形となりましたが、如何せん朝から降り続く雨で、お互いのテントをそれぞれ横膜で覆っているため、献血希望者にはバンクのテントは気がつきにくい状況でした。

駐車場には沢山の車が止まっていますが、買い物のお客さんの出入り口も多く、あまり人通りがない場所であったためか、献血に来られる方もぼつりぼつりという感じでした。

開始からまったくバンクに回って下さる方もなく、このままでは登録者ゼロも頭をよぎりましたが、午前受付がぼちぼち終了という頃にバタバタと5人もの方が登録して下さいました。

午後からもバンク登録のピークが2回ほどあり、気がつけば17人もの方が登録。始めははどのようなことかと思いましたが、雨の中にもかかわらず、献血に訪れた皆さまに感謝です。

また、この会場での登録会は、LALAガーデンの運営会社である三井不動産商業マネジメントという会社が献血に協力的で、1月頃に是非つくばでも登録会をという打診があり、この度実現したものです。終了後に管理事務所へお礼の挨拶を行ったところ、献血とバンク登録を事前に施設内やインターネットなどでもPRしていただけてたとのこと。本当に感謝感謝です。来年も実施できればありがたいと感じた次第です。

雨も降り、肌寒い中参加いただいた皆さま、大変お疲れさまでした。

(伊井義人)

### 6月10日 茨城県立医療大学献血併行登録会

ドナー登録者数 20名(受付21名) 説明のみ 1名  
献 血 者 数 32名(申込53名)  
参 加 者 土浦保健所 斎田様  
説 明 員 長尾、葭原  
地区普及広報委員 葭原健治

梅雨入りから降り続いた雨はやみましたが、明るいどんよりとした日でした。献血場所は大学正門からは一番遠いところで何処が会場かわかりにくかったです。登録場所は、食堂、売店等のある建物のロービーで行われました。

献血受付、バンク登録が始まったのはちょうど昼食時で学生さんであふれていましたが、反応は低くあまり期待できないのかな?と置いていましたが、さすが医療大という結果に終わりました。

14時頃からでしょうか、看護学部の学生さんでしょうか、午後の講義がお休みですという方が4・5人づつグループで登録に訪れ徐々に忙しい充実した登録説明会でした。

そんなわけで、献血受付待ち時間が長くなり、また、献血受付時にバンク登録はどうですかと受付担当者が声をかけていただいたことが大きかったと思います。

そんなこんなで、問診待ちの最後の方も登録ということになり上述の通り、18時25分まで採血終了までかかりました。登録された方には、2時間を超える待ち時間に感謝に堪えませんでした。

最後に、今回も保健所・献血センター、バンク説明員の方々には多大なご協力いただきました、ならびに関係された皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(葭原健治)

**ドナー登録者100万人をめざして!**

## H 2 6 . 1 月 ~ 9 月 茨城県内活動報告

### 6月19日 筑波大学献血併行登録会

ドナー登録者数	7名(受付8名 うち1名は血压要件不可)	説明のみ	4名
献 血 者 数	25名(申込36名)	既登録者	7名
参 加 者	つくば保健所 野口様		
説 明 員	葭原、長尾、伊井(陽)、伊井(義)		
地区普及広報委員	伊井義人		

先月に引き続きの登録会でしたが、場所は前回の図書館前ではなく毎年実施している大学会館前で、ここには留学生センターもあり、例年、献血にも国際色豊かな学生さん達が訪れます。今年もそうでした。

いつものことですが、献血受付と献血バスはかなり離れていて、バンク受付は献血バスの近くという変則的な配置で、献血受付で、まずバンクのお誘いをし、バスに降りて来た方に再度声をかけるといった流れです。

9時半の開始早々、10時から授業という男子学生が献血に来ましたが、その後はなかなか増えません。少し山があったのは、お昼休み直前に問診待ちが2~3人あった程度でしょうか。そんな中、午前中のバンク登録は5名でした。

例年ではお昼休み明けから混み始めるため、今回も気を引き締めてと思っておりましたが、午前中よりもっと少なく感じたくらいの閑散とした感じでした。バンクも思うように伸びず、結果は合計7名でした。

また、説明のみの学生さんは、全員が家族に相談して決めたいということでした。最終的には家族の同意も必要となるので、よくご相談くださいと言って、チャンスを渡しました。

ここ筑波大学で行う登録会は、最近では年2回程度で、いつも献血が初めての方が多く、今回もかなりの方が首から「初めて名札」をつり下げており、まだまだ伸びしろを感じた会場でした。

そうした意味でも、今後も引き続き登録会を行えるよう調整いただきたい会場のひとつです。

梅雨の晴れ間となった一日でしたが、暑い中ご参加いただきました皆さま、大変お疲れさまでした。

(伊井義人)



### 県内に末梢血幹細胞移植の認定病院誕生

このたび、筑波大学附属病院が、全国の認定病院の71病院の一つに登録されました。他の病院の認定も期待されます。認定状況は、日本骨髄バンクのホームページに随時掲載されます。

(公財)日本骨髄バンク ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>



**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**



## H 2 6 . 1 月 ~ 9 月 茨城県内活動報告

### 7月2日 日立ハイテクノロジーズ那珂サイト献血併行登録会

ドナー登録者数 25名(受付26名) 説明のみ 1名  
献血者数 135名(申込151名)  
参加者 常陸大宮保健所 大曽根様  
説明員 葭原、長尾、伊井(陽)、伊井(義)  
地区普及広報委員 伊井義人



正門そばの駐車場に献血バス3台がコの字状に配置され、その中に献血テントが3張。テントの中は、献血のシステムが変更になった関係で、これまで、受付担当者の前に椅子が1脚だったものが、左右にタブレットが置かれて同時に2人の対応をされてました。

今回は3人の受付担当者に献血者横1列に並び、6人が受付に座っている状況は、ある意味、圧巻でもありました。

炎天下でしたが、午前中から沢山の従業員の皆さんが訪れ、一時は受付待ちの方々に用意した30脚あまりの椅子もいっぱいになるほどでした。

システム変更で入力とかも大変そうで、受付で「バンクはどうされますか」というひと言が、最初少しあっただけで、あとはあまりの忙しさでそのひと言も無しで、バスに案内されていました。

そんな中でもバンク受付へも回ってくださる方がポツポツとお出でになり、午前中で13人午後12人と合計25名の方に登録いただきました。

中には、財団のホームページから印刷した申込書を持って来られた方が3名もおり、事前広報を会社のご担当者の方が十分に行ってくださっていると感じました。

また、一度登録したが住所変更を行わずに切れてしまっている方が2人ほどおり、その方には、変更点を主に説明し再登録していただきました。全体的に、声かけのタイミングも含めて今後検討が必要と感じた一日でした。暑い中、ご参加下さいました皆さま、大変お疲れさまでした。

ボランティア希望の方1名が、登録会の状況を見学されました。仲間が増えることを期待してやみません。  
(伊井義人)

### 7月7日 日本メクトロン(株)鹿島工場献血併行登録会

ドナー登録者数 4名(受付4名) 既登録者 3名  
献血者数 33名(申込38名)  
参加者 潮来保健所 埴様  
説明員 葭原、長尾、牛島  
地区普及広報委員 牛島英二

この会場での登録会は5年ぶり3回目の開催です。今回も会場の外に献血バスを配置し、すぐ近くの建物2F食堂内休憩コーナーにて広くゆったりとした配置での受付となりました。

当日は朝から終日の雨で、梅雨らしい一日となりました。

献血バスの到着遅れで受付開始が10時半過ぎとなり、午前中は献血される方も少なく会場は閑散としていました。

午後は、献血受付開始と共に社員の方が相次いで来場され、一時は受付・採血待ちの行列ができましたが、その後は会場が混雑することもなく、一日を通して全般的に献血数は伸びが見られず、33名の結果となりました。

そのような状況の中、ドナー登録会は午前1名、午後3名の登録がありました。

この会場では5年前の年間2回の登録会で合計50名近い方にご登録いただいております、登録済みの方が確認された以外にも多かったのではないかと考えられます。

参加された皆さん、どうもお疲れ様でした。

(牛島英二)

**ドナー登録者100万人をめざして！**

## H 2 6 . 1 月 ~ 9 月 茨城県内活動報告

### 7月22日 鹿島ショッピングセンター献血併行登録会

ドナー登録者数	2名(受付3名)	説明のみ	1名
献 血 者 数	50名(申込63名)	既登録者	2名
参 加 者	潮来保健所 埴様		
説 明 員	葭原、牛島		
地区普及広報委員	牛島英二		

この会場での登録会は3年ぶり3回目の開催です。店舗入口正面の屋外駐車場に献血バスと献血受付用の車両を配置し、すぐ側にテントを設営しての受付となりました。

当日は梅雨明け初日の晴天で、朝から気温もどんどん上昇して猛暑の一日となりました。

午前中、受付開始後しばらくは献血される方も少なく、会場は閑散としていましたが、来店者の増加と共に献血数も増加していきました。

午後の献血受付開始後も、一時は受付・採血待ちの行列ができるほどで、献血者数は順調に増加し、50名の結果となりました。

そのような状況の中、ドナー登録会に対する来店者の反応は低く、一時は登録者無しも予想されましたが、最初の登録者が受付終了30分ほど前にあり、受付終了直前にも1名を追加して合計2名の登録がありました。



説明のみの方は、服薬中とのことで残念ながら登録できませんでしたが、ご息が過去に白血病闘病経験があり、ご自身もいつかはドナー登録したいとの思いを話されたのが印象的でした。

参加された皆さん、猛暑の中、大変お疲れ様でした。  
(牛島英二)

### 8月11日 鹿行県民センター献血併行登録会

ドナー登録者数	7名(受付7名)	説明のみ	4~5名
献 血 者 数	20名(申込24名)		
参 加 者	潮来保健所 埴様		
説 明 員	葭原、長尾、伊井(義)、牛島		
地区普及広報委員	牛島英二		

この会場での登録会は初めての開催です。正面入口ロビーに受付を設営し、屋外駐車中に献血バスを配置しての受付となりました。

天候は台風明けの晴天で、湿度が高く蒸し暑い一日となりました。

当日は休み明けの月曜ということで、職員の方の献血への出足は鈍く、また場所柄一般の方の来庁も少ないこともあり、献血会場が混雑することはほとんど見られず、閑散とした状況が終日続きました。午後からは2回ほど館内放送で献血案内がありましたが、その効果も一時的で、献血者数は20名の結果となりました。

そのような状況の中、ドナー登録も低調な結果が予想されましたが、午前中は1名の登録で終了したものの、午後は同時3名説明の場面があるなど予想外の好調で6名の登録があり、合計7名の登録となりました。午後に登録された方には鉾田保健所職員の方と、血液センター受付職員の方それぞれ1名が含まれます。

参加された皆さん、猛暑の中、大変お疲れ様でした。  
(牛島英二)



**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

## H26.1月～9月 茨城県内活動報告

### 8月12日 イオンモール下妻献血併行登録会

ドナー登録者数	1名(受付1名)	説明のみ	1名
献血者数	30名(申込36名)	既登録者	4名
参加者	筑西保健所 大山様		
説明員	長尾、葭原		
地区普及広報委員	葭原健治(細谷代理)		

イオン食品売場のエレベータそばで人通りの多い通路からほんの少し離れたところでの登録会でしたが、献血される方は少なく、当然??バンク登録も1名となんとなくさびしい一日でした。

空調のある室内での受付でしたので快適でしたが、献血受付、バンク登録ともにスペースを充分に確保できませんでしたが、献血者とともに少なく混雑することなく終了いたしました。

人通りは多かったのですが、お盆の準備等で時間に余裕のない方が多いように見受けられました。

筑西保健所担当区域で今年度最初の登録会で1名の登録でしたが、新任の担当の方が献血、バンク登録の呼びかけに頑張っていたいただき感謝です。

関係各位と参加された皆様ありがとうございました。

お疲れ様でした。感謝。

(葭原健治)

### 8月18日 イオンモール土浦献血併行登録会

ドナー登録者数	5名(受付5名)	説明のみ	2名
献血者数	39名(申込56名)		
参加者	土浦保健所 斎田様		
説明員	長尾、葭原		
地区普及広報委員	葭原健治		

献血場所は、専門店街北入口を出た、駐車場の一角に移動採血車を止め、献血、骨髄バンク受付はイオンモール内の通路と専門店街北入り口の交差したところでおこなわれ、スペース的には狭かったです。

土浦桜霞ライオンズクラブの方が、午前午後と献血お願いのプラカードを掲げてモール内を歩いています。

受付場所環境は、空調の入った所で行いましたので、設置、撤収以外は快適でした。

午前中の献血受付は、少ない感じでしたがしり上がりに増えましたが、受付持ちに3,4名が最大でした。そんな中、骨髄バンクのみ登録が1名、献血が終わってから登録という方の2名が午前中の登録者でした。

午後は、人通りも多くなり献血受付待ちに5,6人という状態がありましたが、あまり長くはその状態は続きませんでした。しかし、3時半頃から受け付けが増え4時10分頃受け付けを終了。

バンク登録は、午後も、バンクのみの方1名、バンクの受付後献血受付された方1名があり、お願いの声かけに工夫が必要!と思うこの頃です。

近年、バンク登録のみの方が時々見受けられるようになりました。この方々に、どのようないきさつで登録のみかお聞きすればよかったと反省しています。

最後に、今回も保健所・献血センター、バンク説明員の方々には多大なご協力いただきました。ならびに、関係された皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(葭原健治)

**ドナー登録者100万人をめざして!**

# H26.1月～9月 茨城県内活動報告

## 9月3日 常陸太田市役所献血併行登録会

ドナー登録者数 7名(受付 7名) 既登録者 6名  
献血者数 65名(申込 72名)  
参加者 常陸大宮保健所 大曾根様  
説明員 葭原、長尾、伊井(陽)、伊井(義)  
地区普及広報委員 伊井義人

ここ、常陸太田市役所での登録会は2年ぶり、前は22名という多さでしたが、今回は7名にとどまりました。ただ、既登録者も6名いらっしゃいましたので、まずまずの結果かと思えます。午前中は、献血に来られる方もあまり多くありませんでしたが、そんな中でも5名の方が登録して下さいました。

出だし順調ということもあり、午後に期待を持っておりましたが、一転、午後は、献血のみの方が多く、結果2名、合計7名でした。中には、献血受付前にバンク登録もOKと内諾頂いた方が、「時間的余裕がないため、今回は止めておきます」ということで2～3名の方が登録されませんでした。

献血には職員の方がほとんどでしたので、今後、しばらくはこの会場での登録会は避けた方がよいかも、と感じた1日でした。

参加された皆さま、大変お疲れ様でした。



(伊井義人)

## 献血ルームでの普及活動

県内の献血ルームにおいて献血併行登録会とは別に、葭原委員が普及活動を行ってくださっています。

水戸、つくば及び日立の献血ルームに足繁く通い、パンフレットの配布や説明等を積極的にいき、県内の骨髄バンクの協力者を着実に増やしてくれています。

平成25年12月16日から平成26年9月18日までの活動日は、なんと26日間！葭原委員、いつもありがとうございます！

【水戸献血ルーム】 登録者数：6名

実施日：1月23日、2月26日、3月12日、4月17日、5月19日、6月18日、7月16日、8月26日、9月18日

【つくば献血ルーム】 登録者数3名

実施日：H25.12月16日、H26.1月21日、2月18日、3月19日、4月14日、5月8日、5月25日、6月25日、7月18日、8月7日

【日立献血ルーム】 登録者数4名

実施日：1月15日、2月12日、3月26日、4月3日、5月15日、8月14日

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**

**骨髄バンクのボランティアを応援してください**

骨髄バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髄バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は会費や皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。

ボランティア活動への応援をお待ちしております。

郵便振替口座名義：00110-3-127575

加入者名義：骨髄バンクを支援するいばらきの会

事務局からのお知らせ

心のもったご寄付をありがとうございました。

長尾洋子様 8,000円

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。

また、日本骨髄バンクのホームページからも登録申込書の印刷が可能です。ドナー登録についての詳しい説明やQ & Aもございますので、是非ご覧ください。

URL <http://www.jmdp.or.jp/index.html>

**【編集後記】**

今年の夏は、例年以上に自然災害が多かったと感じます。また、9月には御嶽山の噴火という予想できない事態も発生しました。

備えあれば憂いなしの言葉は、災害を案じて準備しておくことを言いますが、骨髄バンクもそうではないでしょうか？

いつ発病するかわからないものに、第三者が登録して備えておく…。一人でも多くの方が助かることを願ってやみません。

(編集担当 境野紀子)

NHKテレビ番組

「プロフェッショナル・仕事の流儀」谷口Dr.編

5年前の夏、同番組で「血液ガンとの闘い、最前線に立ち続ける医師」と題して、虎ノ門病院血液内科医 谷口先生が登場した。その内容の壮絶さに絶句し、胸が熱くなった。

私はボランティアを始めた頃、自身の力のなさを痛感し、民間のサラリーマンとなっていた自分に対して、なぜ医者となる道を進まなかったのかと悔やんだことがあった。

この番組で谷口先生の生き様や、「精神的に疲れてくる」との言葉を聞いて、自分はとても医者としてやっていけないことを痛感させられた。「何とかして助ける、それだけを考える」という言葉に感動しつつ、とても自分には真似できないと思い知らされた。

先生の言葉の重さを実感した一部をご紹介します。

「そこには限界というものがあるんだろうけども、医者が限界を感じたら、その段階で患者さんは亡くなるわけだよね。生きる望みを絶たれるわけで、根性だと思っけどね。」

「どういう局面でも、どれだけ悪い情報を突きつけられても、切り抜けていける道が無いかと思う根性じゃないかね。」

「医者は結構ね、患者さんから元気もらうんだよ。」

「患者さんの死というものは、もちろん僕らは直前まで助けようとして、直そうと思って治療しているわけね。だからそれが亡くなるということは、医者の仕事としては全て敗北なんだ。」

「谷口は「移植で治す」と言っているのに、あいつはけっこう亡くなっているばかりやんか、とかねそう言われているような気がするわけだよ。」

「ものすごく精神的に疲れてきて、この世界から逃げたいという気持ちがわいてくるのよ。」

「患者さんのニーズにちゃんと答えられる人、みんな助かりたいと思って来られるわけだよ。」

「それを助けてあげられたら皆、あんたに対しても偉そうに俺はプロフェッショナルだと言うけど、まだ道は遠い」

医師としての重責に耐え、ひたすら前を向いて進もうとする谷口先生の後ろ姿に思わず手を合わせたくなった。先生、がんばってね。応援してるから。

**ドナー登録者100万人をめざして！**



Illustration by 浅生ハルミン

日本骨髄バンク骨髄提供希望者(ドナー)登録者数: 446,454人(県内8,227人)

骨髄移植希望者(患者数): 2,691人(国内1,475人 県内25人)

バンクを通じての移植例数: 17,312例

(海外237例、県内移植数277例、県内採取数349例)

(2014年8月末現在)

(公財)日本骨髄バンク ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

骨髄バンクフリーダイヤル 0120-445-445 または ドナーズネット <http://donorsnet.net> まで

**気負わず、あせらず、できることから、楽しく！**